

「どうぶつすごいところ図かん」を作ろう

～ 「すごい。」と思うことを探しながら図書を読もう ～

2年 国語

「ビーバーの大工事」

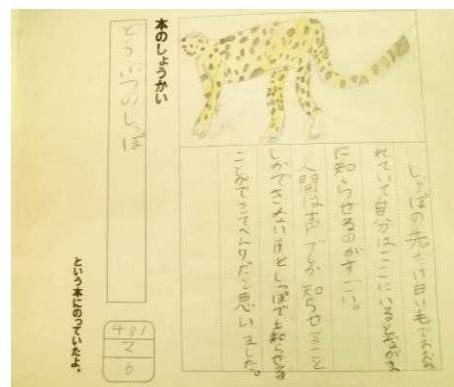
資料の活用・利用指導

ねらい

- 4 類の図書を読み、動物について驚いたことや初めて知ったすごいことなどを見つけ書き出すことができる。

学 習 展 開

- ① 動物の本のブックトークを行い、動物の本に関する興味を高める。
- ② 「ビーバーの大工事」の学習中、教室に図書を置くだけでなく、授業の中でも、たびたび図書を見る時間を設ける。そして、読んだ図書の請求記号を記録しておく。
- ③ 読んだ図書の中から、一番すごいと感じる「動物のすごいところ」をワークシートにまとめ、友だちと読み合い、感想を伝え合う。



◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は司書教諭と相談して、2年生が自力で読める資料を、市立図書館または近隣の小学校と連携しながら準備する。
- 個別な配慮が必要と予想される児童に対して、どの資料が適切か、学校司書と相談しておく。
- 司書教諭は、作品成果物を紹介し保存する。
- 学校司書は、どの資料が児童にとって扱いやすかったのか授業者から聞き把握しておく。

★指導のポイント

- ◆ ワークシートの中に本の請求番号を記入するラベル欄を設けたり、動物に関する本が 4 類であることを伝えたりすることで、本の分類指導にもつなげていく。
- ◆ 単元の後半だけでなく、単元途中にもたびたび動物の本を読む機会を設けることで、たくさんの図書に目を通すことができるようにする。

資料

「どうぶつの目」「どうぶつの口」他シリーズ（偕成社）
 「どうぶつのおやこ」シリーズ（岩崎書店）「くらべてみよう！どうぶつの赤ちゃん」シリーズ（ポプラ社）「飼育員さんおしえて」シリーズ（新日本出版社）